

# 鳥海イヌワシみらい館通信

Vol. 7 2013 夏号

発行：猛禽類保護センター（愛称：鳥海イヌワシみらい館）

〒999-8207 山形県酒田市草津字湯ノ台 71-1 TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683  
http://www.raptor-c.com E-Mail:moukin@raptor-c.com



「クマタカのつがい」 撮影：アクティグレングレンジャー 長船裕

センター周辺で、地域の方とクマタカの調査を行っています。これは5月下旬の出来事です。朝から晴天で、そよ風が心地よく最高の観察日和でした。それまで天候の悪い日が続き、数日ぶりに天気が回復しました。こうしたタイミングでの定点調査は、観察記録が多くなる傾向があります。この日も8時台から頻繁に出現し、雌は繁殖エリアの林内から出入りを繰り返し、雄はコアエリアを高く旋回してはどこかへ消えるといった行動が多く観察できました。写真の行動は、11時頃繁殖エリアの谷内を雌が飛翔中、雄が後方から近づき「つかかりディスプレイ」を行った直後のシーンで、下方が雌、上方にいるのが雄です。侵入個体などへの防衛行動における攻撃や追い払いとは異なり、つがいの雄と雌の間で行われるものです。あたかも足で攻撃するかのよう見え、時には爪が絡み合うように接触し、回転しながら落下することもあります。昼頃にも同様の行動が見られ、とても近かったこともあり、躍動感あふれる行動に興奮しました。繁殖に成功することを祈っています。（文：長船裕紀）



## ～バードウォッチングへの誘い～ 第7回 ワシタカ類 似て非なるもの



孟子曰く、「似て非なる者を悪む。(ちょっと見たかぎりでは似ているが、実際は全く違うものを憎みません。)」全くその通りです。ワシタカを見ている人全員がそう思っているに違いありません。今回はそんなワシタカ類の似て非なるものに迫ってみようというちょっと上級編です。特にハイタカ属と呼ばれるワシタカたちは野外で見ると見分けるのがとっても難しい！やっぱり大きさがポイントだな！（絵：普及啓発担当 本間）

初列風切羽 5枚



↑「ツミ」

大きさ：ヒヨドリと同じくらい  
初列風切羽は5枚にわかれます。目の周りには黄色いアイリングがあり、頭巾をかぶったような顔です。あごにヒゲ模様が入るものもいます。

初列風切羽 6枚



↑「ハイタカ」

大きさ：ハトと同じくらい  
初列風切羽は6枚にわかれます。白い眉毛模様は細いです。オオタカに比べて体が小さいので、お腹の横斑も太く見え、全体的に色の濃い印象です。

初列風切羽 6枚



↑「オオタカ」

大きさ：カラスと同じくらい  
初列風切羽は6枚にわかれます。他のハイタカ属に比べ体が大きく、横斑は細いため、下面は白っぽい印象です。トレードマークの白い眉毛模様は太くはっきりしています。



### イヌワシってどんなワシ？⑥「イヌワシの和名」

ここ猛禽類保護センターには「鳥海イヌワシみらい館」という愛称がついていますが、イヌワシってなに？と思う人や図鑑でしかイヌワシを見たことがない人もいませんか。そこでシリーズ6回目は「イヌワシの和名」について紹介します。

ワシタカに限らず、和名って面白いですね。アオダイショウ、マムシ、ヤマカガシといえは和名に「ヘビ」とつかないヘビです。カナヘビといえは「ヘビ」とつくトカゲです。カモシカといえは「シカ」とつく牛の仲間。ワシタカの仲間にはトビ、ノスリ、チュウヒ、ツミ、ミサゴなどワシやタカとつかない仲間たちがいます。イヌワシにはしっかりと「ワシ」とついています。が、「イヌ」ってなんでしょう？以前、イヌワシの鳴き声が犬に似ているということを紹介しました。実はそれも一説あるのですが、そうだとすると漢字表記は「犬鷲」となります。これも間違いではありませんが、イヌワシにはもう一つ表記される「狗鷲」という漢字があります。

猛禽類の尾羽は昔、弓矢の矢羽根に利用されたそうです。中でもオジロワシやオオワシの持つ真っ白な尾羽が「一級品」であり、お殿様が使った矢にはこれらの羽が使われたそうです。それに比べ羽色が悪いイヌワシは「下級品」として扱われたとか。練習用として使われていたなんてお話もあるようです。そうして当てられたのが「下級」を意味する「狗」という漢字。英名の「ゴールデンイーグル」中国名の「金鷹」、世界での呼び名は豪華絢爛な名前になっていますが、不名誉な名前が与えられてしまった「ニホンイヌワシ」です。



「イヌワシの矢羽」 荘内神社所蔵  
現在弓道などで使われる矢には七面鳥などの羽が使われています。



# イヌワシが見られる動物園⑥「那須どうぶつ王国」



「イヌワシを見てみたい！」けれども野生のイヌワシに出会うことはなかなかむずかしいものです。確実にイヌワシの姿を見てみたい人や、間近にイヌワシを見てみたい人は動物園に行ってみましょう。第6回目は、栃木県「那須どうぶつ王国」です。猛禽類担当の及川のぞみさんへ伺いました。

Q. 現在飼育中のイヌワシについて教えてください。  
「2008年3月25日生まれの『ハヤテ』(♂:5歳)です。」

Q. 那須どうぶつ王国ではいつからイヌワシを飼育しているのですか。  
「2010年5月からです。」

Q. 那須どうぶつ王国でのイヌワシ飼育の特徴は何ですか？  
「那須どうぶつ王国内の猛禽類を管理する飼育舎としては一番大きい展示場にて飼育しています。高さの違う止まり木があるため、上下に飛んで移動する姿を見られます。」

Q. 飼育で苦労していることは何ですか？  
「掃除の際、展示場に入らなければならないのですが、自分のスペースに入られるのを嫌います。飼育員の事が怖い様子です。」

Q. 今後イヌワシの飼育についての展望をお聞かせください。  
「メスのイヌワシを迎え、域外保全を目指しています。」



Q. 飼育員さんが思うイヌワシの魅力について教えてください。  
「美しい羽の色です。」

Q. 那須どうぶつ王国では様々な猛禽類を飼育されていますが、イヌワシと他の猛禽類を比べるとどのような違いがありますか？  
「非常に神経質です。」

Q. 来場される方に一言お願いします。  
「イヌワシの鋭い嘴、鋭い爪にご注目ください。」

那須どうぶつ王国のある那須高原は避暑地としても有名です。広い敷地の那須どうぶつ王国では、猛禽類のショー「バードパフォーマンスショー」が人気で、猛禽類たちが生き生きとした姿で那須高原の大自然を飛翔する姿が見られます。その他、動物のパフォーマンスでも、その動物ならではの特徴や身体能力の高さ、賢さを間近で見られるよう工夫されています。ふれあいや給餌体験も充実しているので、夏休みには是非ご家族で那須どうぶつ王国に遊びに行ってみてください。

## 栃木県 那須どうぶつ王国

〒329-3223 栃木県那須郡那須町大字大島 1042-1

TEL 0287-77-1110

開園時間：平日 10:00~16:30 土日祝 9:00~17:00

入園料：大人(中学生以上) 1,800円

小中学生 1,000円

幼児(3歳~未就学児) 700円

シニア(60歳以上) 1,000円

その他団体割引、アフタヌーン割引などがあります。詳しくはホームページ等でご確認下さい。

休園日：夏休み期間(7月20日~9月1日)は毎日営業



# 長船が行く

## 庄内地域野鳥めぐりの巻

## その2



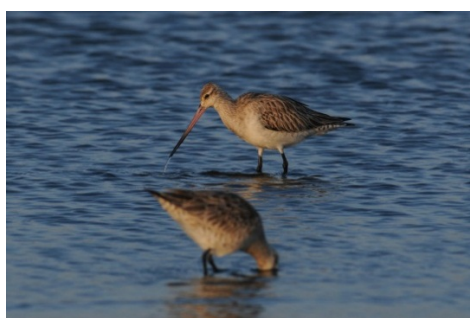
今回は4月から7月にかけての庄内で出会った野鳥やその他の生きものを紹介します。

春の訪れとともに姿を見せた夏鳥も、徐々に観察しづらくなってきました。それでも、鳴き声でその存在を知ることは多く、ホトトギスやカッコウ、オオヨシキリの鳴き声を様々な所で耳にします。山に入ればサンコウチョウやアカショウビンが楽しませてくれます。昨日、ホテルを見に行くと、ヨタカが鳴くのを聞きました。鳥は一日中、我々鳥っこを楽しませてくれるのです。さあ、皆さんも鳥を見に行こう！

(写真：長船裕紀)



田植えを終えたばかりの水田と鳥海山(酒田市)



2013/04/13 オオソリハシシギ

酒田市では渡りの通過時にみられるシギの仲間です。このときはオスとメスが1羽ずついました。撮影：酒田市大浜



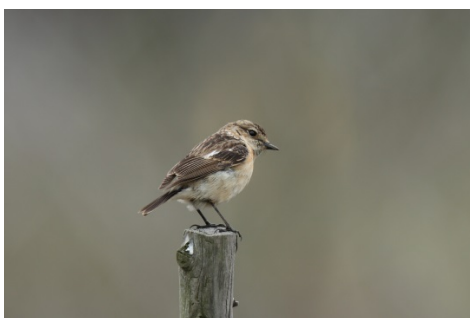
2013/04/20 ベニマシコ

春の渡り時期、小さな群れをよく見かけます。撮影：遊佐町



2013/04/20 ルリビタキ

留鳥ですが、真冬に庄内ではあまり見かけません。よく見るとキリッとした表情をしていますね。撮影：遊佐町



2013/04/20 ノビタキ

この時期はいたるところにいます。猛禽の定点調査中、あまり動かないでいると、すぐ近くまで来てくれます。撮影：酒田市



2013/04/20 カワセミ

アイドル的存在の野鳥です。繁殖している池を見つけました。大きなスジエビを捕まえていました。撮影：酒田市



2013/04/22 ヤブサメ

ちょこまか動き回りますが、一番見やすい時期かもしれません。尾が短くてかわいいですね。撮影：遊佐町



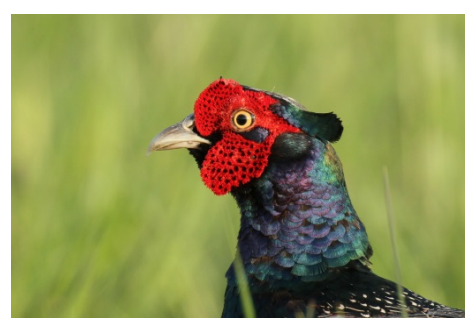
2013/04/20 クマタカ

若鳥です。調査している番の行動圏に、一月以上とどまっていた。ここの番から繁殖した個体なのか不明ですが、全く成鳥から干渉がありませんでした。撮影：酒田市



2013/04/20 ビンズイ

猛禽類調査中、数羽のビンズイが近くを通り過ぎていきました。「ピンピン、ツイツイ…」。撮影：酒田市



2013/04/20 キジ

幾度となく見かけるのですが、つつい写真を撮ってしまう鳥です。とてもきらびやかですね。撮影：酒田市



2013/05/16 アマサギ

ダイサギやチュウサギなどのサラサギとは違った魅力があります。亜麻色の色見本よりずっと美しいと思います。撮影：酒田市



2013/05/17 サシバ

去年巣立った若鳥でしょうか。鳥海南麓の谷津田で狩りをしていました。白みが多く、遠くから見ると時はオオタカかと思いました。撮影：酒田市



2013/05/21 トウネン

酒田市大浜はシギ・チドリ類の渡りにとって、重要な休息場所です。干潟での採餌に必死なようです。撮影：酒田市



2013/05/25 スズメ

最近住宅難といわれるスズメですが、庄内では個体数はどう推移しているのか気になるところです。撮影：酒田市



2013/05/27 オオハクチョウ

どうやら北へ帰り損ねたようです。一緒に残ってくれる相棒はいなかったようで、一人ぼっちで池にいました。撮影：酒田市



2013/05/31 オオルリ

今年は去年より多い気がします。センターでは、バスと衝突したオオルリが収容されました。撮影：酒田市



2013/06/02 コアジサシ

庄内では時々話題となるコアジサシ。山形県随一の繁殖地が庄内にはあります。撮影：酒田市



2013/06/08 チゴハヤブサ

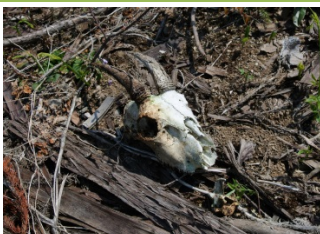
夏の到来を感じさせてくれる野鳥です。庄内での繁殖地を探しているのですが、なかなか見つかりません。情報募集しています。撮影：三川町



2013/06/09 イヌワシ

イヌワシ成鳥が悠然と飛翔。鳥海南麓の個体ではなさそうです。隣接する別の番がいるかもしれませんね。撮影：酒田市

その他（鳥海山周辺の生き物）



2013/05/09 カモシカ頭骨  
頭骨だけが転がっていました。  
撮影：秋田県にかほ市



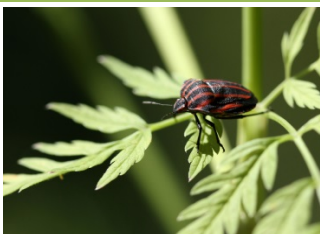
2013/05/14 ツキノワグマ  
ザクザク残雪を歩いていました。撮影：酒田市升田（通称のぞき）



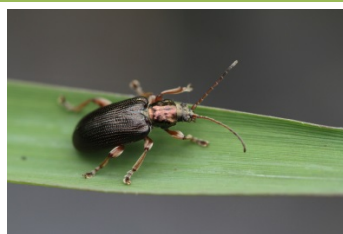
2013/05/15 コナシヨウカ  
産卵場所となる湧水を見つけました。撮影：酒田市長草津



2013/05/31 アナグマ  
まさに穴熊。U字溝に隠れています。撮影：酒田市上黒川



2013/06/13 アカスジカメムシ  
アメリカなカラーです。撮影：酒田市北境



2013/06/21 オオネクイハムシ  
小さな宝石のようです。撮影：酒田市湯ノ台



2013/06/22 ウキトビウモ  
春から夏は、沢山のチョウが発生します。撮影：酒田市上黒川



2013/06/23 ノウサギ  
舗装路をウロウロしていました。撮影：酒田市大台野

# 夏休み体験プログラム

7月22日(月)～8月18日(日) 9:00～16:30 申込み不要

夏休み1週目「7月22日(月)～27日(土)」

「登山道散策」 参加費：200円

9:00～受付 9:30 出発※雨天と午後からは「エコバッグをつくろう！」



夏休み2週目「7月28日(日)～8月3日(土)」

「エコバッグをつくろう！」 参加費：200円

葉っぱもよものすてきなエコバッグをつくります。



夏休み3週目「8月4日(日)～10日(土)」

「鳥海山をつくろう！」 参加費：300円

地図から浮かび上がる立体鳥海山をつくります。



夏休み4週目「8月11日(日)～18日(日)」

「蜜ろうそくをつくろう！」 参加費：400円

ねんどのように好きな形のろうそくをつくります。



お問い合わせ：鳥海イヌワシみらい館 TEL 0234-64-4681

## 夏休み 特別企画展「トリのトリビア」

鳥たちの意外な生態を展示で紹介！学校や職場で自慢できちゃうお話がいっぱい！

平成25年7月20日～8月31日

時間：9:00～16:30

会場：鳥海イヌワシみらい館展示室

入場料：無料

主催：猛禽類保護センター活用協議会

協力：ミュージアムパーク茨城県自然博物館、荘内神社、

津軽三味線竹穂の会、月山あさひ博物村、高橋雄成氏、深沢英恵氏



「風景」7月1日～7月31日

## アクティブ レンジャー写真展

会場：鳥海イヌワシみらい館

入館：無料

主催：環境省東北地方環境事務所

お問合せ：鳥海南麓自然保護官事務所

TEL 0234-64-4682



「いきもの」8月1日～8月31日



# ◆イベント情報コーナー◆

## 観察会「ワシタカスクール」

今年も開校ワシタカスクール！登山道を散策しながらネイチャーゲームやクイズを通してワシタカ類のあれこれを学びます。

期 日：平成 25 年 7 月 21 日（日）  
 時 間： 9:00～15:00  
 場 所：鳥海イヌワシみらい館（猛禽類保護センター）  
 募集人数：親子 10 組 20 名程度  
 参加費：一人 200 円（保険代）  
 持ち物：双眼鏡（貸し出し可）、飲み物、お弁当、軍手、筆記用具、タオル  
 服装：長そで、長ズボン、はきなれた靴、帽子  
 申込み：7月18日（木）17:00 まで  
 お問い合わせ：0234-64-4681  
 e-mail:moukin@raptor-c.com



## ワシ・タカ観察会「秋の渡りを見よう！」

秋に渡っていくワシ・タカ達を観察します。

期 日：平成 25 年 9 月 22 日（日）  
 時 間： 8:00～15:00（7:30より受付）  
 集合場所：八幡タウンセンター（酒田市観音寺字寺ノ下 41）  
 観察場所：鳥海山周辺  
 募集人数：先着 15 名  
 参加費：一人 500 円  
 講 師：NPO 法人猛禽類保護ネットワーク 伊藤智樹氏  
 持ち物：双眼鏡（貸出可）、昼食、飲み物、筆記用具  
 服 装：汚れてもよい履き物、長袖長ズボン、防寒着  
 お問い合わせ：0234-64-4681  
 e-mail：moukin@raptor-c.com



# あしがき&施設情報



Illustrated by Masami Tsuno  
 ©鳥海イヌワシみらい館

### 普及啓発担当

6月はほとんど雨が降らず、7月に入ってからはものすごい土砂降り。気温も高く「熱帯地方」の山形です。（本）

### 事務局

着ぐるみ「ワッシーくん2号」完成！かわいいと評判・活躍しています。（村）

### アクティブレジャー

長船「すいすい」、クマタカ「ばさばさ」、オオタカ「ぱたぱた」、チュウヒ「ひらひら」、トビ「ふわふわ」イヌワシ「???」（長）

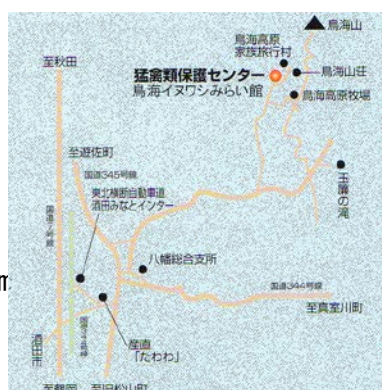
### 環境省

#### 鳥海南麓自然保護官

ワシタカ達も、巣立ちの時期を迎えている頃でしょうか。若鳥よ、大空で羽ばたけ！（水）

## ◆鳥海イヌワシみらい館 7月～9月の開館情報

開館時間・・・9:00～16:30  
 お休み・・・7月、8月は無休、9月は臨時休館日があります。  
 入館料・・・無料  
 臨時休館日はホームページにてお知らせ致します  
 ホームページアドレス・・・<http://www.raptor-c.com>  
 〒999-8207  
 山形県酒田市草津字湯ノ台 71-1  
 TEL 0234-64-4681



ブログ「鳥海イヌワシみらい館日記」もやっています。  
<http://raptor2236.blog.fc2.com/>  
 チェックして下さいね！